

第6回一宮川流域委員会後に寄せられた意見(1/2)

意見要旨	事務局見解
<p>1 河川整備への住民参加について</p> <p>・河川施設を作るときに、地域住民や子供たちが参加できる仕組みを考えられないでしょうか。例えば、卒業記念にベンチを作るとか、ブロックを1つ積む、花壇を作ること等によって、年を経たおじいさん、おばあさんになった時に「ふるさと意識」が持続できるのではないのでしょうか。</p> <p>また、社会の役に立ちたいと思っても、関わり方がわからない方も多いと思います。そんな方々や高齢者の方々の知恵とパワーはとても大切ですので、有効な協力が得られるように願います。今回の傍聴はありがたく思っております。</p>	<p>・一宮川においても、地域住民の方がたに親しまれる川づくりを目指してまいりたいと考えております。今後、休憩施設や広場などの整備において、住民が参加できるような場を設けられるよう検討していきます。</p>
<p>2 河川整備及び河川管理の要望について</p> <p>・新一宮大橋下流右岸にはきれいな階段護岸ができましたが、一番下の段は青藻で滑り危険です。ぜひ、注意看板の設置検討をお願いします。</p> <p>一方、新一宮大橋の上流左岸はいつ見ても変わりありません。早く整備されることを願います。</p> <p>・埴生川の県道茂原大多喜線埴生橋から上流の河川整備を強く要望します。</p> <p>広域農道芝原橋から上流部の張ブロック上の堆積土撤去及び竹の伐採を要望します。</p> <p>また、整備完了した河川の管理用道路整備を要望します。</p> <p>・阿久川の町保橋と富士見橋間の左岸が何ら築堤されておらず、過去にも浸水被害がありました。可久的速やかに築堤工事を実施されることを要望します。</p> <p>・阿久川は、堆積土も多く、竹や樹木が繁茂しており、川の流れを阻害しています。</p> <p>また、一部護岸の崩れもあり、美観も悪い状況です。予算の問題もあると思いますが、河川管理に十分配慮願います。</p> <p>・出水により沢尻橋の下流左岸やゴミ処理場裏の法面が削られ、堆積土が非常に多くなっています。この地域の堆積土撤去と川底の浚渫の必要を強く感じます。</p> <p>現地確認の上、早急なる処置を強く要望します。</p>	<p>・河川整備にあたっては、治水効果が早期に発現できるよう下流部より順次改修を行っております。一方、上流部や支川においても、早急に改修が必要な箇所について、河川改良や災害復旧事業を実施して河道の確保を行っているところです。</p> <p>また、河川管理についても緊急を要する箇所から草刈りや竹の伐採、撤去などを実施しているところです。</p> <p>しかしながら、予算も限られていることから、河川の維持管理が充分ではない箇所があることも事実です。</p> <p>今後は、ご意見を参考にし、予算の確保に努めるとともに、地域住民やボランティアの方々が参加して行う河川清掃や美化活動の場をより多く設けてまいりたいと考えています。</p>

第6回一宮川流域委員会後に寄せられた意見(2/2)

意見要旨	事務局見解
<p>3 イベント広場について</p> <p>・会議が公開となり、関心のある人と課題や議論の経緯が共有できるようになったことは、評価します。</p> <p>イベント広場については、河口の自然に親しめる施設が期待されているのは確か。今回の具体案を提示して、広く住民の皆さんからの意見を聞いて成案としてほしい。</p> <p>呼び名も、「川と海ふれあい広場」ほどの意味合いにした方が現場の実情に近く、意見や提案が出やすいように思います。</p> <p>特に「ワンド」は、子供のための親水を意図したようですが、干満、ゴミの漂着、砂浜の泥質化、安全管理ほかで難しいのではないのでしょうか。</p>	<p>・イベント広場の名称及び整備計画については、地元の方への説明会等を通して広く意見を取り入れた計画としていきたいと思っております。</p> <p>また、今後の維持管理を含め、関係町村等とよく協議しながら進めてまいります。</p> <p>水とふれあう「砂浜」は、ご意見のとおり利用にあたっての安全性や維持管理手法等、検討をしながら計画を進めてまいります。</p>